

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和03年03月05日

計画の名称	多治見市地域住宅計画															
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)													重点配分対象の該当		
交付対象	多治見市															
計画の目標	公営住他の住環境整備・建物の長寿命化を図ること及び老朽化した住宅の集約を促進することにより、だれもが暮らしやすい住まいづくりを実現します。															
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		585	A	572	B	0	C	13	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		2.22	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ H27当初 ）		（ H31末 ）
1	外壁改修・屋根防水等長寿命化を行った住棟の割合を37%から45%に増加			
	計画年度末において、外壁改修・屋根防水等を施工した割合 （長寿命化率）＝（改修住棟数）／（計画期間内に対応年数の残っている住棟数）	37%	%	45%
2	2階建て以上の住宅の手摺の耐蝕化を行った戸数の割合を71%から77%に増加			
	計画年度末において、手摺の耐蝕化を施工した戸数割合 （手摺腐食化の改善割合）＝（改修住戸数）／（2階建て以上で計画期間内に耐用年数の残っている住戸数）	71%	%	77%
3	高齢者等に配慮した住戸の割合を26%から36%に増加			
	中層耐火構造の住戸の 1 階部分を一定のバリアフリー化した割合 （バリアフリー対応の整備率）＝（整備された住戸数）／（中層耐火構造の 1 階の住戸数）	26%	%	36%
4	老朽化した高根団地低層7棟を解体するため、新たに2棟（12戸）建設			
	計画年度末における高根団地低層の棟数	13棟	棟	8棟

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	多治見市	直接	市	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	4団地 452戸	多治見市	■	■	■	■	■	383		策定済
	A15-002	住宅	一般	多治見市	直接	市	-	-	高根団地（中層）集約化 事業	2棟 12戸	多治見市			■	■	■	167		策定済
	A15-003	住宅	一般	多治見市	直接	市	-	-	集約化事業に伴う解体（ 高根団地3棟分）	3棟解体	多治見市					■	12		策定済
	A15-004	住宅	一般	多治見市	直接	市	-	-	集約化事業に伴う駐車場 整備	駐車場整備	多治見市					■	10		策定済
											小計						572		
											合計						572		

C 效果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	C15-001	住宅	一般	多治見市	直接	市	-	-	物置・駐輪場改修事業	物置・駐輪場改修事業	多治見市	■	■	■	■	■	13		-	
		外壁屋根防水改修工事を行う棟に設置されている物置・駐輪場を同時に改修することにより市営住宅の長寿命化が図られると共に、入居者の居住環境を高めることにつながる。																		
												小計						13		
											合計						13			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
多治見市にて事後評価を行った	令和3年3月
	公表の方法
	多治見市のウェブサイトにて公表を行うと共に、建築住宅課窓口にて閲覧可

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	建物の長寿命化及びバリアフリー化を図ることにより、良質な住宅ストックを確保することができた。 移転先住宅を整備したことにより、移転集約が促進され、通常の退去分以外で7棟の用途廃止をすることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	外壁屋根防水改修工事を行う棟に設置されている物置・駐輪場を同時に改修することにより市営住宅の長寿命化が図られると共に、入居者の住環境の向上につながっている。

○特記事項（今後の方針等）

今後、長期的に維持管理をする予定の中層住宅等について、外壁・屋根防水等の改修工事を行うと共に、その付属建物及び共同施設についても改修を行い、長寿命化を図っていく。
また、高齢者や障がい者が住みやすい住宅を供給するため、引続きバリアフリー化を推進していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	外壁改修・屋根防水等長寿命化を行った住棟の割合		
	最 終 目標値	45%	
	最 終 実績値	45%	
2	2階建て以上の住宅の手摺の耐蝕化を行った戸数の割合		
	最 終 目標値	77%	腐蝕化が進む手摺に対し、計画より早急な対応を行った。
	最 終 実績値	87%	
3	高齢者等に配慮した住戸の割合		
	最 終 目標値	36%	
	最 終 実績値	36%	
4	老朽化した高根団地低層7棟を解体するため、新たに2棟（12戸）建設		
	最 終 目標値	8棟	建設用地の形状から建物の配置を見直し、 3 棟（ 1 2 戸 ）に変更した。新設した住宅への移転のほかに、通常の退去が複数あり、全戸空家となった住棟が想定以上となった。事業開始当初あった老朽化した住宅 1 3 棟のうち、 9 棟を用途廃止（うち 2 棟を解体）した。その他 7 棟の解体については、残り 4 棟の用途廃止後にまとめて行う予定。
	最 終 実績値	14棟	